

○布野支所の約束

・布野支所長の基本姿勢

布野支所は、住民との相互理解と連携に力を入れ、「自分たちのまちは自分たちが創り、地域に住まいする住民の力で磨き、輝かせる」という住民意識を高めます。特に「中村憲吉記念文芸館」や「道の駅ゆめランド布野」など支所管内の特色ある施設については、住民と施設が何らかの形で関わる仕組みをつくります。

地域づくりは、新たなものを作るのではなく、地域住民がこれまで気付かなかった地域固有の資源を自分自身の生活の一部に組み込んでいく作業です。布野支所は、地域リーダーの育成にも積極的に努め、あらゆる部門で住民活動をしっかりサポートできるよう、万全の体制で支援します。

・布野支所の約束

人材育成を進め、住民主体の施設運営の仕組みをつくります。

項目番号	約束（項目）	取組内容（計画から）	平成24年度目標
(1)－②	市民と行政との対等な役割関係の強化	市民、住民自治組織、市民団体などと行政とが、対等な立場で、課題の解決やまちづくりに向けて、継続的、建設的に議論を深め、それぞれが役割分担をしながら主体的取組を進めていく。	「布野地域生活安全ネットワーク会議（構成団体20）」を今年7月に開催し、各団体の役割を明確にする。その後、定例会議において進捗状況を相互に確認する。
(1)－③	自主的・自立的な地域づくりの支援	個性ある地域づくりへの市民団体などの継続的な取組を支援し、市民主体のより多様で重層的な地域づくりの展開を促進する。	住民自治組織や農業生産団体が行う「都市農村交流事業計画（仮称）」の策定などについて支援する。
(4)－①	市有財産の再検証（整理・統合・廃止等）	市有財産全体を再検証し、直営施設以外は、地域等への譲渡を中心に統合や廃止により整理する。	・市が所有する管内のすべての施設について、現況等を調査・把握を行い、市が直接管理運営しなければならないもの以外は維持管理計画を作成し、統合・譲渡・廃止等を検討する。 ・普通財産として所有している土地等の遊休財産を調査し、売却等を検討する。